

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	呼吸器関連疾患を有する嚥下障害患者の嚥下障害の特徴および嚥下リハビリテーションの帰結との関連の検討 (B25-113)
当院の研究責任者 (所属・職位)	リハビリテーション部 一般職 湯本瞳
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	呼吸の機能と嚥下（飲み込み）の機能は関連があることが分かっており、呼吸機能が低下すると嚥下に困難を抱える患者さんが一定数いらっしゃいます。しかし、呼吸機能のどのような特徴や症状が嚥下機能に関連しているかについてはまだあまり研究がなされていません。そこで、この研究では、呼吸機能障害のある患者さんの嚥下機能の特徴や、嚥下リハビリテーションが嚥下機能にどのような影響を与えるかを調査します。
調査データ 該当期間	2020年1月1日から研究機関の長の許可日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2020年1月1日から2026年1月1日に当院呼吸器内科に入院し、嚥下リハビリテーションを施行した19歳以上の方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2020年1月1日から研究機関の長の許可日までの電子カルテに記載のある診療記録（診断名、年齢、性別、臨床症状、治療方法、検査データ）、および嚥下機能に関するデータ（食形態、唾液嚥下テスト、水飲みテスト、フードテストなど）を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、研究責任者の自己資金を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	<p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：042-778-8413</p> <p>所属・職位：リハビリテーション部・一般職</p> <p>担当者：湯本 瞳（ユモト ヒトミ）</p> <p>電話：042-778-8413</p>
備 考	